



主催：NPO 法人日本全国志士協義会 第6回恒久平和シンポジウム

～愛・絆 100年後の地球・子どもたちのために～



私たちの日々の生活は、地球からのたくさんの恩恵と人類の協力なくして成り立ちません。そして、真の平和な社会を築くためには「世の中で最も苦しんでいる人々に人生の幸せを感じてもらおう」こと、そして「地球といかに共存していく」ことが最も大切だと考えます。だからこそより一層地球・人類の様々な問題点を感じ取り、子どもたちのためにどのように人生を過ごし、どのように社会を築いていくかが問われます。

「すべての中に宇宙が在り、宇宙の中に銀河が在り、銀河の中に地球が在り、

地球の中に人類が在り、人類の中に日本人が在る」

日本人の中には日本の歴史に培われた世界に通用する「公の意識」「高い倫理観」常に自分を律することによって、初めて他を大切にすることができるという「真の倫理観」が根底に流れています。そんな日本に生まれ、日本に育つ私たちが100年後の地球・子どもたちのためにやらなければならないことは何か。身近な事例をもとにご一緒に考えましょう。

恒久平和シンポジウムは、市民活動家による講演とパネルディスカッションを予定しております。ぜひ、皆様にご出席をいただき、真の平和を築いていくための価値ある第一歩としていただけたら幸いです。心からお待ち申し上げます。

7月28日(土)

- ◆時間：開場 12:30 開演 13:00 終演 16:30 定員 80名
- ◆場所：パルティ とちぎ男女共同参画センター ♪ 栃木県宇都宮市野沢町 4-1
- ◆参加料：無料 ※愛の難病支援基金への募金にご協力ください。

講師



学校法人アジア学院校長
荒川朋子氏



NPO法人被水福祉の会 DebRA Japan 代表理事
宮本恵子氏



学校法人アジア学院第46期
ニラニ・ウェラゴダ氏



NPO 法人日本全国志士協義会 副理事長
三宅隆史

チャリティー スポンサーにご協力ください



恒久平和シンポジウムにおいて「チャリティー スポンサー(寄付協賛者)を募集いたします。「チャリティー スポンサー」よりいただいた浄財は愛の難病支援基金に積み立てられ、NPO 法人表皮水疱症友の会 DebRA Japan へ寄付させていただきます。ご寄付をいただいた個人並びに法人のお名前は、当日に配布されるプログラムに掲載させていただきます。なお、掲載サイズは全て同じとさせていただきますことをご了承ください。

- ・第6回恒久平和シンポジウムの趣旨に賛同された個人並びに法人。
- ・寄付金 一〇/1,000-(三〇/3,000-以上)

講師



荒川朋子（あらかわともこ）群馬県高崎市出身。高校時代、アジア学院の創設者である高見敏弘氏の講演を聞き、高見氏の世界の農村の諸問題に取り組むクリスチャンとしての生き方に感銘を受ける。その後大学在学中にアジア学院のワークキャンプに参加。世界の多様な人間が集まって、人間にとって最も大切な食べ物といのちを中心にしたコミュニティを作り、共に学び成長することを目指すなどという「無謀ともいえる挑戦」に加わってみたいと思うようになる。1995年、生まれだての長女を連れアジア学院で働くようになり、2015年に校長に就任、現在に至る。アジア学院の活動は志を共にする世界の人の善意のみで支えられる地道な活動であるが、どんなに外見や文化が違っていても、同じ「使命」に向かって人間は共に生きていけることを実感することのできる、とてもドラマチックでエキサイティングで、かつ喜びに満ちた活動でもあると確信している。



宮本恵子（みやもとけいこ）。出生時に手足に赤あざ、三か月後にびらんが発症する。13歳の時に表皮水疱症と診断を受ける。その後、病気の治療を続けながら出版業・広告業に勤務する。44歳を迎え、両足背有棘細胞ガン切除右手指の癒着離反・皮膚移植手術を受けながらも、2007年に「表皮水疱症友の会 DebRA Japan」創設する。署名運動では、2009年は約11万人、2010年には約36万人からの署名を得て厚生労働省へ陳情する。現在も表皮水疱症と乳がんの治療を並行して受けながら、表皮水疱症患者の未来を明るく見せたいとすべく、日々活動を行っている。



ニラニ・ウェラゴダ。スリランカ出身。幼少期からの夢であるソーシャルワーカーになるため、社会福祉関係の学校で学び、卒業後はシッダールタ子供開発基金に就職。この財団での仕事を通じ、現在スリランカの中で孤立している、ウィルガムラ地区を対象に活動し、識字能力の向上、青年活動支援、村人の自立心を育てるためのプログラムなどを地元の子どもたちへの支援を多方面から行っている。外部からの援助に頼ってしまう傾向や、識字率の低さ、全体的に恵まれない人生を送ってきていることに対して、これらの活動は人々に自立への自信を取り戻させ、効果的に村の発展に貢献している。村人達の生来の心根の良さを信じ、団体でのこれまでの活動で得た村人との結びつきを大切に、よりよい未来に向けて団体をリードすることに情熱を傾けている。

主催者代表スピーチ



三宅隆史（みやけたからみ）。1960年東京都新宿区出身。大学卒業後、コンピューター消耗品（主に連続伝票）を製造する日本通信紙（株）に入社（営業6年・人事3年）。1993年見ず知らずの黒磯市（現那須塩原市）へアイターン。その後、ソニー生命保険（株）からの声掛けにより、ライフプランナーとして転職。8年後に独立。現在は医療機関（救命救急センター）にも携わり、健康と病・生と死に日々対面している。当法人の創設メンバーの一人。黒磯へ引越す理由「田舎に住みたい」からもわかる様、自然が大好き。クラシック・ロック音楽への興味に始まり、若い頃から欧米文化に目を向けていたが、数年前に心の師との出会いにより、興味の方向が180度変わり、日本文化の根底にある心の奥深さに改めて感銘を受ける様になり、自分なりに若い世代へそれを継承する使命を感じている。

お問い合わせ先；NPO 法人日本全国志士協義会 事務局 担当:大森紫問 TEL080-4163-0815

URL : <http://www.japanshishi.com> Email : japanshishi@gmail.com